

## 保証について

弊社納入の製品が、取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書にある正常なご使用状態のもとで故障した場合は、  
以下の保証期間をご確認のうえ弊社担当者までご連絡ください。

構造・製造上の欠陥と認められた製品につきましては、納入後1年間は無償修理をいたします。

モールド製法による製品（ソファ、アームチェア、チェア、ベッドなど）の構造部位（※1）につきましては  
製造日より10年間品質を保証いたします（OUTDOORコレクションを除く）。

（※1） 構造部位とは、シートクッション、バックレストクッション、アームレストクッション、ヘッドレストクッション、  
脚部を除いた本体のフレームを指します

保証にはB&B Italia本社または弊社によって認められたアイテムの交換・修理が含まれます。  
通常の消耗や不適切な取扱いまたは使用、事故または不可抗力に起因する損害は保証いたしかねます。

当社以外の第三者によって分解・改造・修正・修理等がなされ、故障・破損した製品は保証の対象外となります。

また、下記項目に該当する場合も保証期間内であっても保証対象外とさせていただきます。

1. 機能及び使用上影響のない感覚的現象（音・振動等）
2. 地震、風水害等の天災及び事故、火災による不具合
3. 使用上の誤り及び使用者による修理改造や接続による故障・破損
4. 使用者の故意または重大な過失による故障・破損
5. 設置後の落下・衝突や故意による移動時の故障・破損
6. 木部の経年変化、ファブリック、レザー等の劣化・汚損
7. 直射日光、冷暖房器具の熱等に起因する変形・変色

上記の項目における製品の修理は承りますが、かかる費用は有償となりますので予めご了承願います。

## クレームについて

納入後、直ちに製品の数量・仕様及びキズ・破損等の有無をご確認ください。

その際、運搬などでダメージを受けた製品につきましては、納入後8日以内にご連絡願います。

納入後9日以降は、クレームとしてのお取り扱いではなく、有償修理の対象となりますのでご注意ください。

## 家具のお取り扱いについて

家具は適切に使用しなかった場合、怪我や破損を引き起こす原因となります。

お取り扱い方法を守って正しくお使い下さい。

### 【ソファ・チェア】

踏み台代わりに上に乗ったり、座面以外の部分に座らないで下さい。

転倒や怪我の原因となり、また家具の劣化にも繋がります。

前脚のみ、または後脚のみに荷重をかけるなどして不安定な姿勢では座らないで下さい。

転倒や怪我の原因となり、また家具の劣化にも繋がります。

回転機構のある商品は軸部分に負担がかからぬようできるだけ中央に座って下さい。

折りたたみチェアは完全に広げた状態で使用して下さい。

中途半端な状態で使用すると転倒や怪我の原因となり、また家具の劣化にも繋がります。

また、開閉操作時の指挟みにご注意下さい。

スタッキングチェアは積み上げ可能数を守り、しっかりと積み重ねて下さい。

ズれて重ねてしまうと不安定となり転倒の原因となります。

移動をする際は引きずらないで下さい。床の傷つき、家具の損傷に繋がります。

ソファなど重量のある商品に関しては適正な人数で運んで下さい。

組み立て式の商品は分解のうえ運んで下さい。

移動後はネジの緩みなどないかを確認し、組み立てが不十分な状態では使用しないで下さい。

水平な場所に設置して下さい。アジャスター付き商品は水平になるように調整して下さい。

破損、変形、ぐらつきが発生した際は使用をやめてください。

乳幼児や小さなお子様を寝かせたり乗せたりしないでください。

床への落下、クッションなどに身体が挟まることにより窒息するなどの危険性があります。

直射日光、冷暖房器具の近くでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。

高温多湿な場所は避け、換気をして下さい。冬場に加湿器を使用する際は過度な加湿にご注意下さい。

製品の周囲や上部に危険物、壊れやすい物を置かないで下さい。

#### 【クッション】

ご使用後はこまめに軽く叩くなどして形を整えると長持ちします。

羽毛を使った商品は空気を入れることで張りが復元し、快適な状態を保つことができます。

#### 【テーブル・デスク・収納】

踏み台代わりに天板に乗ったり、座ったりしないで下さい。

転倒や怪我の原因となり、また家具の劣化にも繋がります。

天板に熱いものやコンロなどの調理器具を直接乗せないで下さい。

天板に底面がざらついた食器などを直接乗せないで下さい。傷つきの原因となります。

天板に結露したグラスなどを置きっぱなしにしないで下さい。輪染みが残りに取れなくなる恐れがあります。

伸長式のテーブルは天板に物を乗せたまま伸縮操作を行わないで下さい。

天板にクリップタイプの照明器具や幼児用の簡易椅子を取り付けしないで下さい。

転倒や怪我の原因となり、また家具の劣化にも繋がります。

扉や引き出しに無理に荷重をかけたり、同時にいくつも開けないで下さい。  
怪我の原因となり、また家具の劣化にも繋がります。

蝶番や取り付け金具に緩みがないか定期的にチェックして下さい。  
また、可動式の棚板は受け具に確実に取り付けして下さい。

扉や引き出しを開閉する際の指挟みにご注意下さい。

移動をする際は中の物を出してから移動して下さい。

必要に応じて地震対策の固定器具を併用して下さい。

水平な場所に設置して下さい。アジャスター付き商品は水平になるように調整して下さい。

破損、変形、ぐらつきが発生した際は使用をやめてください。

直射日光、冷暖房器具の近くでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。

高温多湿な場所は避け、換気をして下さい。冬場に加湿器を使用する際は過度な加湿にご注意  
下さい。

製品の周囲や上部に危険物、壊れやすい物を置かないで下さい。

## 日々のお手入れについて

家具には様々な素材が使用されておりますが、すべての素材に共通してできるお手入れ方法は「キレイなやわらかい布で乾拭きをしてホコリを払うこと」のみです。

ファブリック張りのソファやラグにはブラッシングや掃除機での吸引も有効です。

また、現在インターネット上に出回っているお手入れ情報には間違っただけのものも少なくありません。

特に何かをこぼしたり、汚れを付けてしまった際は焦って検索をして間違っただけの方法をとってしまいますと、

かえって悪化してしまうことがあります。焦らず、まずはカスタマーサービスまでご相談下さい。

### 【革・レザー】

乾拭きする際は力を入れずに布を滑らす程度として下さい。強く擦ると革・塗膜を痛めてしまいます。

使用する布は乾燥したキレイな布を使用してください。

色のついた布や、マイクロファイバータオルの使用は避けて下さい。

ウェットティッシュ（特にアルコールを含んだもの）、メラミンスポンジは革・塗膜を荒らしてしまうので避けて下さい。

クリーナーを使用する際はユニタス社のレザーマスターをお使い下さい。

ただし、クリーナーを使用できない種類の革も御座いますので、事前にご確認下さい。

指定のクリーナーを使用しても汚れの種類、症状によっては除去できないものもあります。

そういった場合は無理せずにカスタマーサービスまでご相談下さい。

## 【布・ファブリック】

日常のお手入れはブラシでホコリを払ったり、掃除機の口にやわらかいブラシを取り付けて弱い力で吸い取って下さい。

毛足の長いものは毛並みに沿ってブラシをかけてください。

液体をこぼした場合はやわらかい布で吸い取って下さい。

擦ったり、押し付けてしまうと汚れが中に押し込まれてしまうのでご注意ください。

固体が付着した場合はスプーンなどで余分な汚れをすくい取ってから、やわらかい布で軽く拭き取って下さい。

クリーナーを使用する際はユニタス社のファブリックマスターをお使い下さい。

ただし、クリーナーを使用できない種類のファブリックも御座いますので、事前にご確認下さい。

指定のクリーナーを使用しても汚れの種類、症状によっては除去できないものもあります。

そういった場合は無理せずにカスタマーサービスまでご相談下さい。

ファブリックの種類によってはクリーニング（水洗い）をすると縮んでしまうものがありますのでご注意ください。

## 【木部・ウッド】

日常のお手入れはキレイでやわらかい布で乾拭きして下さい。

ベンジン、アルコール、シンナー、メラミンスポンジ、家具用ワックス、化学雑巾などは使用しないで下さい。

塗膜を溶かしてしまい、表面のツヤが変わってしまう恐れがあります。

マジックやボールペン、マニキュアなどが付いた場合は擦っても取れません。

汚れが広がらないように手をつけない状態のまま、すぐにカスタマーサービスまでご相談下さい。

### 【金属・メッキ】

日常のお手入れはキレイでやわらかい布で乾拭きして下さい。

ベンジン、アルコール、シンナー、メラミンスポンジなどは使用しないで下さい。  
塗膜を溶かしてしまい、表面のツヤが変わってしまう恐れがあります。

ポリッシュ（磨き）仕上げがくすんできた場合、クレンザー等で研磨するのは避けて下さい。  
誤った磨き方をすると傷つきやメッキ剥がれの元となります。  
プロによるメンテナンスをご紹介しますのでアフターサービスまでご相談下さい。

### 【大理石】

日常のお手入れはキレイなやわらかい布で乾拭きして下さい。

表面の水分を放置してしまうと染みになってしまいますのでご注意下さい。  
特にワインなど酸性の液体は石を溶かしてしまいます。

### 【ガラス】

ガラスクリーナーを使用する際は直接吹きかけず、布に吹きかけて使用して下さい。  
直接吹きかけるとガラス以外の部分に対して影響を及ぼす恐れがあります。

### 【ラグ】

日常のお手入れは毛並みに沿って掃除機をかけてホコリを吸い取って下さい。

毛足の長い製品は通常のブラシを使用して弱い力で吸い取ります。回転式のヘッドは使用しないで下さい。

ひどい汚れにはプロによるメンテナンスをご紹介しますのでアフターサービスまでご相談下さい。